



マッチング組み合わせ決定～新年度へ向けて～

10月18日(木)午後2時に平成20年4月採用の初期研修者マッチング結果が医師臨床研修マッチング協議会より発表されました。(MMC会員病院の結果は右の通り、定員はH19年度)

今回は昨年までマッチ者のなかった病院にマッチ者が出たり、MMC設立当時から目標であった「マッチ者80人」を達成したりとこれまでとは違った「良い傾向」も伺えるものの、中間公表段階から懸念されていた北勢地区への偏重が加速するという「悪い傾向」も読み取れ、楽観視はできないように考えられます。

来年はこれまで以上の研修医が三重県で研修を開始されます。単純に人数の問題としてとらえるのではなく、今後はどれだけ研修医に「充実した研修生活」を送っていただけるかを考え、MMCとして皆様にお手伝いできることはないか考えていかなければならないと思います。

	定員	H19	H18	H17
市立四日市病院	15	15	13	12
いなべ総合病院	4	3	2	0
桑名市民病院	4	3	0	0
山本総合病院	6	6	3	4
四日市社会保険病院	5	1	4	4
県立総合医療センター	12	11	4	5
鈴鹿中央総合病院	8	7	8	8
鈴鹿回生病院	8	3	2	2
三重大学医学部附属病院	26	6	6	3
三重中央医療センター	6	5	1	2
津生協病院	3	1	1	1
岡波総合病院	4	0	0	2
名張市立病院	4	1	3	4
松阪中央総合病院	8	5	7	4
済生会松阪総合病院	9	5	8	6
松阪市民病院	5	1	0	0
山田赤十字病院	12	6	11	10
市立伊勢総合病院	5	0	0	5
県立志摩病院	4	3	1	3
尾鷲総合病院	2	0	0	0
紀南病院	4	0	0	0
合計	154	82	74	75

専門医を取ろう!!～専門医ガイドブック刊行～

法律で定められた「臨床研修」を一般的に「初期研修」というのに対し、その後の専門医養成課程については明確な規定がなく、病院によっては呼び名が違っていたり、期間についても2年～5年あるいはその先までと意見が分かれています。またその専門科によっても内容が大きく異なっているため、大変分りづらく、後期研修についての情報収集が不十分であると感じている研修医の皆さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。

この度MMCではその問題を少しでも手助けできるよう、『後期研修のための 専門医【まる三重】ガイド』を作成し発行いたしました。これまでは『MMC臨床研修病院 後期研修ガイド』と称して、MMCの【研修病院ごとにまとめた】後期研修の案内冊子を作成してまいりましたが、今回は三重県内の各病院の先生方にご協力をいただき、各専門医についての紹介ならびに先輩の声、また後期研修医を募集している病院の紹介を一冊にまとめました。専門医のページには「専門医の解説」「受験資格」「認定更新」「病院別専門医数」が掲載されています。また専門医を志す方へのメッセージを執筆していただいた先生方の連絡先も個別に掲載しておりますので、「この先生のお話を直接聞きたい!!」というご要望にもお応えできる一冊です。ぜひ一読ください。(資料請求は事務局まで)



MCB みえ医師バンク1周年

MMCが運営をしている有料職業紹介事業「みえ医師バンク」が、11月1日で活動開始からちょうど1周年を迎えました。全国でもさまざまな同種の事業が行われ、それらが抱えている諸問題と同様、登録医師数の伸び悩みや運営そのものの難しさなど難問を抱えつつ歩行錯誤の1年間でした。

しかしながら、皆様のご協力のおかげで徐々に認知度も上がり、わずかではありますが契約の成立件数も増えてきております。

もしお知り合いの医師の方で現在現場から離れていらっしゃる方やお仕事をお探しの方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

MMC新規会員のご紹介!!

☆医療法人康誠会 東員病院



員弁郡東員町穴太2400

情報コーナー

☆第4回卒後研修臨床懇話会

〈日時〉平成20年1月19日(土)13:30～
〈会場〉四日市都ホテル

★演題申し込みは終了いたしました。たくさんのお申し込みをありがとうございました。

☆第5回MMC Advanced OSCE大会

〈日時〉平成20年3月上旬予定

〈会場〉松阪中央総合病院

☆詳細が決定次第ホームページ及び本誌にて発表いたします。

☆新研修医オリエンテーション

〈日時〉平成20年4月4日(予定)

〈会場〉三重大学三翠ホール

☆シンポジウム/医師のキャリア・デザイン

〈日時〉平成19年11月17日13時～

〈会場〉三重大学医学部臨床第3講義室

★県内外のジェネラリスト(地域医療、総合診療、家庭医療、プライマリ)の先生方を演者に迎えた特別シンポジウムです。

新連載 ちよっと太り気味ドクターの ～スタンフォード旅行記～

第1回～カリフォルニアの青い空??

High way 101を北へ向けて走るシボレー・コバルト・クーペ。抜けるような、カリフォルニアの青い空。遠くにサンフランシスコ湾が見える。ちょうど1週間前の今日、この道を南へ向けて不安一杯の気持ちで、走っていたのが嘘のようだ。心なしか、周りの車も優しくなった気がする。I want to stay here, a little bit more... 心の中でつぶやく。「RENTAL CAR RETURN」黄色い看板が目に入り込んでくる。この旅もう終わりか...。空港のスポットANAのボーイング777が見える。一週間前の土曜日を思い出す。カリフォルニアでは2ヶ月ぶりの雨空と低くたれ込めた雲。少しぬれた路面をのるすずむハンドル車に、周囲の車は容赦ない。これから一週間もここで過ごすことができるのだろうか?あんな気持ちか嘘のようだ。そして最初でおそらく最後のスタンフォード大学への旅が終わろうとしていた。

この夏、米国スタンフォード大学とメディカルセンターを見学する貴重な機会を得ることができた。昨今、医学教育が語られる時によく引き合いに出される米国の医学教育、そしてレジデンシーシステム。レジデント、マッチング、インターン等々。米国のシステムから日本に取り入れられたシステムは少なくない。ただ個人的には、「米国ではこうだから...」式の意見はあまり好みではなかった。今回わずか1週間の滞在で僕が見て、聞いて、体験した米国の医学教育や臨床研修は、いままでも自分が嫌っていたアメリカかぶるものとも、「米国では...」と前置きする多くの(概して偉い!)方々が述べているものとも、全く違っていた。そして、三重大学の臨床研修とともども似ていても違っていた。いずれにしても短い文章では、表しきれないものではない。ただ、結論としては、僕がまねできるものもあればできないものもあるということ。でも、その雰囲気というカルチャーは、少しうらやましいかな...?これから12回にわたって、その感動の一端をお伝えできればと思っています。



↑スタンフォード・メモリアルチャーチ前の中庭とカリフォルニアの青い空...太りぎみドクター一人て歩くにはちょっと...

事務局員のつぶやき

家に転がるエレキギターで、子供と一緒にベンチャーを練習中。いつか舞台上立つ日を夢見て?!

(金児)

